

厳しかった夏の日差しも、  
秋風とともに和らいできましたが、  
夏の疲れなど出ていませんか？  
季節の変わり目は、体調を崩しやすいので  
規則正しい生活を心がけましょう。



## 国民健康保険をお持ちのかたへ

現在お持ちの国民健康保険の有効期限が、平成25年10月31日までとなっております。  
10月初めから新しい健康保険証が堺市より順次郵送されます。

一般国民健康保険は 「藤色」から「黄緑色」に、  
退職国民健康保険は 「うすだいだい色」から「オレンジ色」に変更になります。  
新しい保険証が届きましたら、窓口まで提出をお願いします。

**保険証が変更になった方、また変更になる予定の方は受付スタッフにお申し出下さい。**

## インフルエンザ予防接種について

インフルエンザ予防接種を11月頃に予定しております。  
接種開始日、料金等の詳細は、決まり次第院内に掲示致しますので、宜しくお願いします。

## 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種について

堺市では、成人用肺炎球菌ワクチン予防接種を希望される方へ、  
接種費用の一部を助成しています。

### 助成を受けることができる方

堺市に住民登録のある方で、接種日において満75歳以上の方

### 助成金額

接種にかかる費用のうち、3,000円を堺市が負担します。

加藤内科の場合

窓口にて **4,725円** お支払頂くようになります。

内訳 7,500円 - 3,000円 = 4,500円(消費税225円)

(ワクチン代) (堺市負担分) (窓口お支払分)

※但し、75歳未満の方は7,875円(7,500円消費税375円)になります。

**予約制になりますので、ご希望の方は受付窓口までお申し込み下さい。**

※5年間効果がありますので、過去5年間に接種されている方は必要ありません。



これからの時期は、風邪や予防接種など診察が大変混み合うことが多くなりますので、  
特定健診、市民検診等はお早めに受診されることをお勧め致します。  
検査は順次行っていきます。診察の順番が変わることがありますので、ご了承ください。  
診察の順番等で何かありましたら、受付までお問い合わせください。

# 肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による感染症を予防するワクチンです

肺炎は、日本の死亡原因の第3位であり、年間約10万人以上の方が亡くなっています。なかでも、高齢者の方がかかると重症化しやすく、大変怖い病気です。特に、これからの時期は、かぜや、インフルエンザに感染して免疫が低下した方が、肺炎球菌に感染し持病が悪化したり、重篤な状態に陥ることになりかねません。



## ※肺炎球菌ワクチンとは？

日常でかかる肺炎の中で1番多い病原菌である「肺炎球菌」という細菌感染を予防するワクチンです。「肺炎球菌」が引き起こす主な病気としては、肺炎のほか、気管支炎など呼吸器感染症、副鼻腔炎、髄膜炎などがあります。予防接種することにより、肺炎の8割を予防することができ、もしかかったとしても“軽症で済む”“抗生物質が効きやすい”などの効果もあります。

## ※どのような人が接種すると良いのか？

高齢者の方(特に65歳以上の方)

慢性呼吸器疾患、慢性心不全、肝硬変など慢性肝疾患、糖尿病などの持病をお持ちの方  
また、養護老人ホームなど長期療養施設などに居住されている方など



## ※肺炎球菌ワクチンの接種時期は？

年中いつでも可能です。

また、「肺炎球菌ワクチン」の接種後、期間を1週間あけると別のワクチンを接種することができます。「インフルエンザワクチン」の接種も開始しますので、併用して接種されることをお勧めします。

## ※肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間は？ また何回も接種出来るの？

約5年間効果があると言われており、以後徐々に免疫は低下します。

個人差はありますが、5年目以降も効果は残っています。

また、日本では5年以上経過した場合のみ2度目の再接種が出来ることになりました。

※1度接種された方が5年以内に再接種をした場合、副反応が強くなる場合がありますので、1回目の接種日は、必ず手帳などに控えておきましょう。

## 肺炎球菌



予防接種は、その病気に“まったくかからない”という訳ではありません。毎日の規則正しい生活も大切です。生活習慣を整えて予防に努めましょう。

堺市では75歳以上の方は接種の一部を負担していますので、まだ接種されていない方は、この機会に接種されることをお勧め致します。 ※75歳未満の方は全額自己負担となります。